

=====
統計メールニュース No.1302(2020.12.15)

このメールは、配信登録された方に無料で送信しています。

=====
【本日の公表データ】

■2020年（令和2年）科学技術研究調査結果

◀研究費▶

○2019年度の科学技術研究費(以下「研究費」という。)は、19兆5757億円(対前年度比0.3%増)で、3年連続で増加し、過去最高

○国内総生産(GDP)に対する研究費の比率は、3.50%と前年度に比べ0.01ポイント低下

○2019年度の研究費を研究主体別にみると、企業が14兆2121億円(研究費全体に占める割合72.6%)、大学等が3兆7202億円(同19.0%)、非営利団体・公的機関が1兆6435億円(同8.4%)

○企業の研究費を産業別にみると、「輸送用機械器具製造業」が3兆1791億円(企業の研究費全体に占める割合22.4%)と最も多く、次いで「医薬品製造業」が1兆3392億円(同9.4%)

◀研究者数▶

○2020年3月31日現在の研究者数は、88万1000人(対前年度比0.7%増)で、4年連続で増加し、過去最多

○研究者1人当たりの研究費は、2222万円(対前年度比0.4%減)で、3年ぶりに減少

○女性研究者数(実数)は、15万8900人(対前年度比2.6%増)で過去最多、研究者全体に占める割合は16.9%(前年度に比べ0.3ポイント上昇)と過去最高

<https://www.stat.go.jp/data/kagaku/kekka/index.html>

■2019年（令和元年）個人企業経済調査結果

2018年の1企業当たりの年間売上高は、1336万7000円となっている。

また、都道府県別の1企業当たりの年間売上高は、奈良県の1585万8000円が最も多く、次いで大阪府が1565万2000円、和歌山県が1540万3000円などとなっている。

2019年6月1日現在の事業主の年齢が70歳以上の企業の割合は39.6%と、全体の約4割を占めている。

<https://www.stat.go.jp/data/kojinke/kekka.html>

=====
誰でも無料で学べるオンライン講座「誰でも使える統計オープンデータ」受講者募集中！

社会人・大学生に統計オープンデータを活用したデータ分析の手法を分かりやすく解説します。

是非、御登録ください。

<https://gacco.org/stat-japan3/>

=====
調査へのご理解・ご協力をお願いします。

あなたのために。くらしのために。統計調査(広報動画)

<https://www.youtube.com/watch?v=L8dMUPJ7qAs&feature=youtu.be>

=====

配信先の変更・配信中止など

<https://www.stat.go.jp/info/mail/index.html>

※統計データの入手先に関する問い合わせ, 統計調査に関する Q&A

<https://www.stat.go.jp/training/toshokan/faq.html>

=====

このメールにお心当たりがない方は、大変お手数ですが下記までご連絡ください。

総務省統計局統計情報利用推進課

stat_m-news@soumu.go.jp